

健ちゃんは、僕が小学校五年の時、腎臓結石で、おしっこから血が出て、半年ほど養生で寝たつきりだった。

その頃、よく、僕は将棋が好きで、暇があると、朝から晩まで、将棋の相手をして、しょっちゅう、昼ごはん、夕ごはんを呼ばれていた。

兄貴や、お母ちゃんが、何度も、ひっこく、「将棋ばっかりしんと、勉強しい！」と言っても僕は聞かないだ。

健ちゃんの四時頃まで、兄貴が京都大学合格した事や、お姉ちゃんの婚礼写真を見たり、テレビの事や、その他の事で雑談。

健ちゃんも元気になり、今は働いている。

「あれっ」と思った。

どこかへ行くらしい。

「よっちゃん、一緒に来いひんけ。友達とこ行くんやけど。」

横で、お姉ちゃんがニタニタしていた。その訳がわからなかった。まあ、軽い気持ちで行く事にした。

女って、鋭いなあ